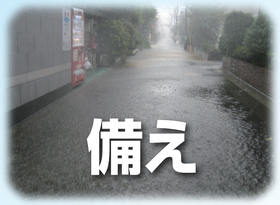
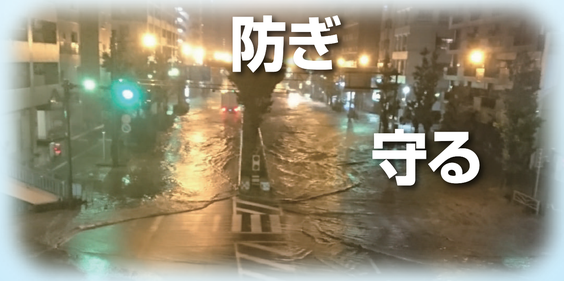
川崎市
KAWASAKI CITY

多摩区版

内水 ハザードマップ





川崎市では、時間雨量52～58mmに対応した下水道の整備をしていますが、能力を超える大雨や河川の水位が高い時等に、下水道や水路等から水があふれるおそれがあります。
内水ハザードマップは、水があふれた時の避難に活用していただくため、あふれる水の範囲や深さ、備え方、防ぎ方、避難方法等の情報をまとめたものです。

想定条件

1時間に153mmの想定最大規模降雨が河川や海の水位がとても高い時に降った場合

堤防からの越流や、堤防が決壊して河川が氾濫した場合を想定した「洪水ハザードマップ」も公表しています。本ハザードマップとは浸水深や浸水範囲が大きく異なりますので、あわせてご確認ください。

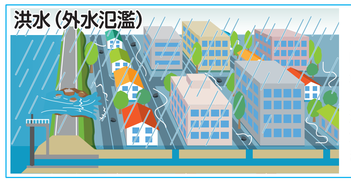
令和8年5月版

水害発生のメカニズム

内水氾濫

『内水氾濫』とは、下水道等の排水施設の能力を超えた雨が降った時や、雨水の排水先の河川の水位が高くなった時等に、雨水が排水できなくなり浸水する現象です。
下水道や水路等から雨水があふれだし、浸水被害が発生します。

洪水（外水氾濫）



『洪水（外水氾濫）』とは、大雨によって河川の水位が高くなった時、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりする現象です。
決壊した場所から勢いよく水が流れ出し、家屋の倒壊や流出等の大きな被害が発生することがあります。

その他のハザードマップ

洪水、土砂災害、津波のハザードマップ、過去10年間の浸水実績図もありますので、内水ハザードマップとあわせて自宅の災害リスクを確認しましょう。
また、お住まいの住環境に応じた、適切な避難プラン『マイタイムライン』を作成することも有用です。

洪水ハザードマップ
▶ 堤防からの越水、堤防決壊による浸水想定区域等
川崎市　洪水ハザードマップ
入手先
・各区役所危機管理担当及び支所・出張所（自区版のみ）
・危機管理本部　・かわさき情報プラザ
・建設緑政局道路河川整備部河川課

土砂災害ハザードマップ
▶ 土砂災害の注意が必要な区域等
川崎市　土砂災害ハザードマップ
入手先
・各区役所危機管理担当及び支所・出張所（自区版のみ）
・危機管理本部　・かわさき情報プラザ
・まちづくり局指導部宅地企画指導課

津波ハザードマップ
▶ 津波発生時の浸水想定区域等
川崎市　津波ハザードマップ
入手先
・川崎区役所危機管理担当及び大師支所、田島支所
・幸区役所危機管理担当　・川崎行政サービスコーナー
・危機管理本部　・かわさき情報プラザ
・教育文化会館　・川崎図書館

浸水実績図
▶ 過去10年間の浸水被害の実績
川崎市　浸水実績図
閲覧場所
・各区役所危機管理担当及び道路公園センター（自区版のみ）
・危機管理本部　・かわさき情報プラザ
・上下水道局下水道部下水道計画課　・各図書館
・建設緑政局道路河川整備部河川課

※ガイドマップかわさきでも、ハザードマップ等の情報を確認することができます。

雨の強さと降り方の目安

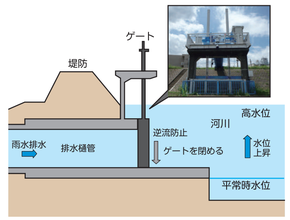
屋外の様子		雨の様子		
猛烈な雨	・水しぶきであたり一面、白っぽくなり視界が悪くなる ・マンホールから水が噴出する		・息苦しくなるような圧迫感がある ・恐怖を感じる	1時間に80mm以上の雨
非常に激しい雨			・ゴーゴーと滝のように降る ・傘は全く役に立たなくなる	1時間に50～80mmの雨
激しい雨	・道路が川のようになる		・バケツをひっくり返したように降る ・傘をさしていてもぬれる	1時間に30～50mmの雨
強い雨	・一面に水たまりができる ・側溝から雨水があふれ始める		・どしゃ降り ・傘をさしていてもぬれる	1時間に20～30mmの雨
やや強い雨	・一面に水たまりができる		・ザーザーと降る ・跳ね返りで足元がぬれる	1時間に10～20mmの雨

避難情報

警戒レベル	状況	避難行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報（例）】※3 大雨	河川氾濫	相当する警戒レベル
警戒レベル5	災害発生又は切迫	既に**災害が発生又は切迫**している状況です。**命を守るための最善の行動**をとりましょう。	緊急安全確保※1（川崎市が発令）	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	警戒レベル5相当
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞						
警戒レベル4	災害のおそれ高い	**危険な場所から全員避難**しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示（川崎市が発令）	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	警戒レベル4相当
警戒レベル3	災害のおそれあり	**避難に時間を要する人（ご高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難**しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難※2（川崎市が発令）	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	警戒レベル3相当
警戒レベル2	気象状況悪化	避難に備え、**ハザードマップ等**により、**自らの避難行動を確認**しましょう。	レベル2 大雨注意報 等（気象庁が発表）	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	警戒レベル2
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害の心構えを高めましょう。	早期注意情報（気象庁が発表）	早期注意情報		警戒レベル1

※1　市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、**警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。**
※2　警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
※3　これらは、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

排水樋管（はいすいひかん）とは？



「排水樋管（はいすいひかん）」は下水道から河川に雨水を排水する箇所に設けられる施設です。
排水樋管のゲート操作により洪水、高潮及び津波による逆流を防止します。

川崎市上下水道局排水樋管情報
▶ 排水樋管（山王・宮内・諏訪・二子・宇奈根）の水位、ゲートの開閉状況等を確認することができます。また、メールニュースかわさきに登録すると情報が配信されます。
川崎市　排水樋管　水位計

防災情報収集ツール

川崎市防災情報ポータルサイト
▶川崎市の防災に関する情報を集めたWebサイトです。災害発生時には緊急情報、避難所開設情報などを発信します。
川崎市　防災情報ポータルサイト

川の防災情報（国土交通省）
▶河川の水位や雨の情報から氾濫の危険度、浸水の危険性が高まっている河川等を確認することができます。
川の防災情報

川崎市水位計・河川監視カメラ
▶川崎市内の河川に設置されている水位計及び河川監視カメラについて確認することができます。
川崎市　水位計 河川監視カメラ

川崎市防災気象情報
▶川崎市及び周辺部における気象・地震情報等をまとめたWebサイトです。
川崎市　防災情報

メールニュースかわさき「防災気象情報」
▶川崎市の防災情報を発信します。配信を希望する方は空メールを送信して登録してください。
メールニュースかわさき

かわさき防災アプリ
▶川崎市からの緊急情報や避難情報を確認できるほか、気象情報、各種ハザードマップをアプリで確認することができます。
App Store からダウンロード（iPhone iOS ver 13.0以上）
Google Play で手に入れる（Android端末 (Android OS ver 6.0以上)）
かわさき防災アプリ

「川崎市危機管理本部」公式X
▶危機管理本部の公式X（旧:Twitter）です。川崎市の防災に関する情報を発信していますので、ご利用の方はフォローしてください。
危機管理本部 X

川崎市LINE公式アカウント
▶ 災害時には、皆様に重要なお知らせをご案内します。「川崎市」をぜひ「友だち登録」してください。
LINE@　川崎市　LINE公式アカウント

※災害時はテレビやラジオ、防災放送により防災情報を得ることができます。

テレビ【●テレビ神奈川（3ch）● YOUテレビ●iTSCOM ● J:COM】
ラジオ【○かわさきFM（79.1MHz）】

我が家の防災メモ

○ お問い合わせ先

内水ハザードマップに関すること	上下水道局下水道部下水道計画課	044-200-0104
避難に関すること	危機管理本部	044-200-3682
	多摩区役所危機管理担当	044-935-3146
道路・水路・側溝に関すること	多摩区役所道路公園センター	044-946-0044
下水道に関すること	上下水道局北部下水道管理事務所	044-954-0208
	上下水道お客さまセンター（受付業務受託会社）	0120-014-734
洪水ハザードマップに関すること	建設緑政局道路河川整備部河川課	044-200-2902
土砂災害ハザードマップに関すること	まちづくり局指導部宅地企画指導課	044-200-3035

緊急連絡先	警察署	110	消防署	119

○ もしもの時の連絡方法

災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板は、災害時の安否確認に有効な方法です。

「災害用伝言板ダイヤル171」の活用
伝言の録音方法 ▶ 1 7 1 にダイヤルする ▶ 録音の場合 1 ▶ （　）　－
伝言の再生方法 ▶ 1 7 1 にダイヤルする ▶ 再生の場合 2 ▶ （　）　－
（ガイダンスが流れます）　電話番号は市外局番からダイヤルしてください。

「災害用伝言板」の活用　各社の災害用伝言板サイト
NTT ドコモ ▶　au ▶　ソフトバンク ▶

○ 家族の連絡先

名　前	電　話	住　所	メ　モ
最寄りの避難所			

●メ　モ

発行：川崎市上下水道局下水道部下水道計画課　TEL 044-200-0104

日ごろからの備え

○ 避難場所の確認

いざという時に適切な行動を取り、自分の大切な家族の命や生活を守るため、自分のまち（自宅や勤務地等）のハザードマップを確認し、浸水の危険性や、避難場所を確認しましょう（垂直避難のためのご自宅の上階、最寄りの2階以上の建物等高所）。
また、洪水や土砂災害等のリスクにも備えるため、「いつ」「だれが」「どのように」避難するかをまとめておくマイタイムラインを作成しましょう。

マイタイムライン
川崎市　マイタイムライン
マイタイムラインは、あくまで目安の行動です。実際の災害時は避難情報や気象情報をこまめに確認し、状況に合わせて柔軟に行動するようにしましょう。

○ 防災情報の確認

テレビ・ラジオ	ホームページ等	防災テレフォンサービス
防災メール等	防災放送	県内の一般加入電話、公衆電話及び一部のIP電話から ▶ 0120-910-174（通話料なし）
		携帯電話、PHS、県外の一般加入電話及び公衆電話から ▶ 044-245-8870（通話料あり）

地上デジタル放送・ケーブルテレビ
●テレビ神奈川（3ch）や、YOUテレビ、iTSCOM、J:COMのデータ放送を利用して、川崎市の防災気象情報を配信します。

かわさきFM（79.1MHz）
●川崎市からの緊急情報や安否情報、ライフライン等の生活情報を放送します。

災害時にはテレビ・ラジオ・ホームページ、防災メール、防災テレフォンサービス等により、自ら防災情報を入手する心掛けが必要です。事前に「メールニュースかわさき」への登録や、「かわさき防災アプリ」をダウンロードする等、災害に備えましょう。
また、次のような状況では、情報が伝わりにくくなります。自宅周辺の異変を感じたり、防災行政無線のサイレンが鳴った場合等には防災情報を確認しましょう。

①テレビ・ラジオをつけていない　③雨戸を締め切って寝ている
②停電中である

浸水被害を防ぐためには

○ 土のう等で浸水対策

浸水深が浅いときは、家庭にあるものを使って、家屋への浸水を軽減することができます。

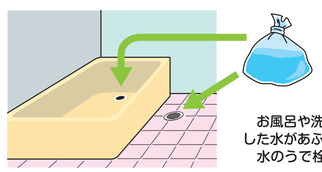
土のうを設置することで、家屋への浸水を防ぐことができます。
土のうは各区役所道路公園センターで配布しています。

プランターや水を入れたポリタンクを並べレジャーシートで包むことで、家屋への浸水を防ぐことができます。

○ 側溝や雨水ますの取水口の確認

側溝や雨水ますから雨水を集めています。ごみや落ち葉等が詰まると水が流れにくくなりますので、お近くの側溝や雨水ますの清掃にご協力をお願いします。
また、プランターや乗り上げ部等で雨水ますをふさいでしまうと、道路上に水があふれてしまうため、物を置かないようにしましょう。

○ 意外なところから浸水が発生します



水のうの作り方
ゴミ袋（45ℓ程度）を、二重にし、中に半分くらい水を入れます。

お風呂や洗濯機、トイレ等の排水口から逆流した水があふれる場合があります。
水のうで栓をすることで防ぐことができます。

浸水時の行動

○ 垂直避難

内水氾濫については、浸水が発生しても、建物の上階に避難すれば安全を確保することができます。
20センチメートル程度の水深でも水の流れによっては歩行が困難となります。
無理して屋外へ移動せず、高所へ垂直避難をしましょう。
なお、突発的な集中豪雨等は事前の予測が困難であるため、避難所は開設されていない可能性が高いです。市からの防災情報に注意しましょう。

2階以上へ垂直避難

○ 地下空間の危険性

地下室や半地下等の地下空間は、地上の様子を確認できず、地上が冠水すると一気に水が流れ込んでくることがあります。
また、低い水位でも水圧でドアを開けることができなくなります。
早めに地上・上階へ避難してください。

水圧でドアが開かなくなります。

○ 大雨時や浸水時の注意点

市内には鉄道の下等に立体交差部（アンダーパス）があり、大雨時には冠水するおそれがあるため、通行は避けましょう。

浸水時には、ふたのはずれたマンホールや側溝等危険な場所があります。やむを得ず、移動する場合には、長い棒を杖代わりにする等、足元の安全を確保しましょう。

土砂災害警戒区域等では、大雨等による土砂災害への警戒が必要です。集中豪雨等により、外が危険な状況である場合は、自宅上階や崖の反対側の部屋等、より安全な場所に避難しましょう。